

シドニー日本クラブ  
第471号

JCS  
だより

5月号  
2025



## 戦後80周年記念イベント開催を決定

親睦の会◎浮世絵鑑賞会

江戸めがね◎しびれ、京へのぼれ

秋のことわり◎七味コーヒー

キネマ倶楽部◎Anora(アノーラ)

進め！カルチュラリズム◎選択的夫婦別姓を考える

翔け！マイグラント！◎Talent Showcase

# 理事会から

●2025年4月定例理事会 4月2日(水)7:00pm-8:45pm (zoom)

渡部会長、コストロ副会長、水越副会長、リヒター会計担当理事、齊藤理事、阿部理事、林専門理事、マーン専門理事、小柳専門理事、近藤専門理事、松隈事務局長、新野、神田領事(欠席:チャーカー相談役、多田監事、ホジュキンソン理事)

●会員世帯数:325世帯(一般46世帯・学校279世帯) ●次回理事会:5月7日(水)

## ◆総領事館からの連絡

神田領事から以下の項目について説明があった。(詳細は本誌9ページの「総領事館からのお知らせ」を参照。)

- 旅券発給体制の変更
- マイナ免許証について
- 在外選挙人名簿への登録

## ◆戦後80周年記念イベント「Pass the Baton」について

日時:8月16日(土)13時~15時

会場:NSW Teachers Federation Conference Centre

○追加講演 8月17日:オーストラリア国立海洋博物館

8月18日:シドニー日本人国際学校

## ◆JCSフェイトについて

日時:7月6日(日)11時~15時

場所:オーバンピクニックエリア(予約済み)

- 5月理事会でフェイト参加の理事及び担当を決定する。
- 出店案内担当:松隈、出演者案内担当:マーン
- 出店料:物品(会員\$40/非会員\$70)、食品(\$100/\$150)

## ◆JCS Japan Festival in Chatswoodについて

日時:9月14日(日)11時~18時(土曜から日曜に変更)

- 会場のチャッツウッドモール賃貸料の値上げ見込み
- 出店数と出店料の確認:2024年度(出店14/出展11)
- ワークショップ連絡担当:齊藤

## ◆その他

- 千羽鶴寄付の打診あり(Reddam House North Shore)  
オーストラリア海洋博物館での戦後80周年記念講演時に展示、その後、広島市の平和公園に贈呈を打診。(松隈)
- デジタル会員証の発行や、JCSのIT化を進める。
- JCS理事選挙:5月理事会にて理事候補リストを作成。

## ◆学校関係

●シティ校:14クラス、生徒数209名、138世帯

全クラスのクラス保護者会が行われ、授業の流れやお家でのサポートに関してなど教員と保護者間で意見交換も行われ終了しました。2週間にわたって眉山学園大学生18名が来校しクラスサポートをしていただき今回も素晴らしい交流を行いました。学生からのフィードバックでは、学びが多くとてもいい経験になったとのこと。15日のロックダウン・避難訓練では、西村領事が視察に来られお褒めの言葉をいただきました。22日のスピーチ発表会実行委員会では、3学期に行われるクラスごとのスピーチ発表会に関して教員と討議を行い準備を開始しました。今から生徒たちのスピーチ発表が楽しみです。29日には、幼児部と特別支援クラス向けに1800回以上の経験を積んでいる東京都認定へブンパフォーマンスほっほさんが来校しパフォーマンスをしていただきました。子どもたちは、とても楽しく参加していました。今学期



も盛り沢山でしたが無事に終えお休みを迎えます。お休み中には、FCLS主催のカンファレンスには多くの教員・委員が参加予定です。2学期からは、14クラスから15クラス体制にし、さらに手厚い授業を行なっていく予定です。

●ダンドラス校:11クラス、生徒数146名、98世帯

1学期もそろそろ残りわずか、恒例の新入生のこのぼりの手形取りや、ロックダウンと避難訓練も領事を迎えてつつがなく終了し、親も子供も楽しいフリーマーケットも体験することができた。長い休みになる4月には、FCLS主催の教員向けカンファレンスがあり、ダンドラス校からも7、8人の教員が参加予定。

休みを挟んで5月からの2学期は、連邦選挙と現地校のFeteのため2回、通常の授業ができない日がありそう。選挙日程の確定を待ち、オンライン授業で両日に対応するか、それともうち一日は休校とするかを相談中。また年次総会も予定されている。運動会も2学期に行う予定でいるが、この現地校Feteと予備日がぶつかってしまったため、さらに前倒しする予定でいる。

まったく例年通りに運営できないでいる2025年ではあるが、役員一同よく相談しあいつつ学校を運営し、生徒たちに楽しい授業や経験を提供してゆきたい。

●エッジクリフ校:5クラス、生徒数59名、43世帯

3月1日に各クラスがひなまつり行事と桃の節句について学び、ひなまつりにちなんだ工作をした。3月8日と15日には各クラスが保護者会を実施し、担任より今年の年間目標や具体的な授業方針を保護者に説明。さらに保護者からの質問&問い合わせを受けて検討し、それぞれのクラスで授業に生かしていく。22日は避難訓練を行い、全クラス「おは(か)し」を守ってすみやかに避難場所に移動することができた。29日はロックダウン訓練。総領事館から神田領事が視察され、フィードバックを頂いた。反省点として来年以降に生かす。

\*10周年記念の生徒への記念品が決定。エッジクリフ校のロゴ入り傘とクリアファイルの予定。

\*今年の幼児部新入生は英語しか話さない生徒が多い。全員が今年入学の生徒ではないため、クラス内でレベルの差が大きい。担任と検討、対策を考え、保護者の協力も得て、全員が楽しく学習できる環境づくりを目指す。

# 2025年 シドニー日本クラブのイベント

7月



## JCSフェイト

日時:7月6日(日)11時~15時

会場:Auburn Community Picnic Area

内容:JCS本部や日本語学校三校の出店のほか、会員の方や一般の店舗のほか、金魚すくい、ヨーヨー、射的のゲーム、パフォーマンスと盛りだくさん!



8月



## シドニー日本クラブ年次総会

日時:8月23日(土)15時~16時

会場:Dougherty Community Centre, Chatswood

年次総会では、事業報告と事業計画、決算報告と予算案の審議と承認を行います。今年は役員改選の年です。自薦・他薦の役員候補を期待しています。



8月



## 戦後80周年記念イベント

日時:8月16日(土)13時~15時

会場:NSW Teachers Federation Conference Centre

内容:広島在住の被爆者 小倉桂子(写真)さんによる講演会と、絵本「戦争をやめた人たち」の読み聞かせ。

9月



## チャッツウッドで日本の祭り

日時:9月14日(日)11時~18時

会場:Chatswood Mall, Chatswood

今年もシドニー北部チャッツウッドで日本の祭りを開催し、祭りを通じて日本文化を紹介します。

11月



## シドニー日本クラブ忘年会

日時:11月23日(日) 会場:(未定)

昨年は5年ぶりに開催となった日本クラブの忘年会。今年も11月に開催を予定しています。ラッフル抽選や、トリビアクイズで大いに楽しみましょう!



12月



## シドニーの日本の祭り

日時:12月7日(日)11時~18時

会場:Wentworth Park Sporting Complex

昨年、5年ぶりの開催となったシドニーの日本の祭りが、今年も12月に開催します。JCS後援イベントです。

# 親睦の会 だより

会員  
募集

シドニー日本クラブ会員の親睦と交流の集いです。和やかな雰囲気の中、和食弁当を食べながらの情報交換後には、様々な趣向を凝らした内容で楽しんでいます。遠足や野外活動も行っています。

JCSシドニー日本クラブの会員でしたら入会金は不要。年齢・性別・国籍は問いません。ビジターも大歓迎です。新しい輪を広げましょう。お気軽にご参加ください。

**親睦の会役員** 会長：林さゆり、副会長：ピアス康子、会計：加藤真理、事務局長：ピアス康子  
ボランティア：カーター洋子、斎藤なお子、竹内美佐子、橋本克子、ヨハンソン治子（五十音順）

## 【浮世絵鑑賞会】

4月16日(水)に、NSW州立美術館(Art Gallery Road, Sydney)にて浮世絵の鑑賞をして参りました。

浮世絵の保存は湿度や温度が大変重要なので、常時展示することは不可能として、美術館の収蔵庫に保管してあります。この度は、幕末から明治時代初期にかけて活躍し、最後の浮世絵師とも呼ばれた月岡芳年(1839～1892)の「月」にまつわる100図の歴史絵「月百姿」(つきひやくし)から選んだ作品を、額装していない状態で鑑賞させて頂きました。

美術館内の特別室にて、かつて日本にある浮世絵美術

館で働いていた経験もおありの日本語ガイド、浜田千恵氏の熱意あふれる名解説とともに鑑賞した浮世絵は、いつまでも目に焼き付くほど感銘を受けました。読者の皆様にもご紹介させて頂きます。この感動を分かち合えたら幸せに思います。

## 【お知らせ】

親睦の会「七夕フェイト」は、例年のオーバンで、7月6日の日曜日に開催します。



「五条橋の月」

京都の五条橋は、牛若丸(源義経)と弁慶が、月夜に出会った場所という伝説で知られています。薙刀を放り回し襲いかかった大柄な弁慶でしたが、扇を投げつけ、さっと素早くかわす牛若丸に倒されてしまいます。その結果として、主従の契りを結ぶのですが、歌舞伎での三味線でも、この場面では、飛び跳ねる躍動感が伝わってくるようなバチ捌きが印象的です。



「名月や畳の上に松の影 其角」

冴えわたる中秋の名月を浴びて、庭にある松の枝が、くっきりとその影を畳の上に落としている情景が伺えます。団扇を握った美しい女性が、それを茶室から眺めている姿から、団扇こそが月を暗示していると涙み取ったり、茶室が光に照らされているのは、月によってだけではなく、この美人がいたからこそ、というこの女性を名月にみなしている説もあり、月自体を描いていないこの作品を思い巡らすと、時間を忘れてしまう程でした。



「朝野川晴雪月 孝女ちかこ」

沈みかけの満月に照らされた妙に明るい雪灯りの夜に、手を合わせ悲しみと祈りとが混ざった表情で川に身を投じ、自らの命を断った様子を描いたものです。投獄された祖父と父の放免を願って、身代わりに自分の命を捨てたちか子を、当時は親孝行な孝女とされ語られていたそうです。私は初め、翻された着物や、ちか子の表情にばかり気持ちが惹きつけられていましたが、二羽の白鷺が、ちか子の魂を月の世界に運んで行く様子を象徴的に表現したとすれば、ちか子も報われる気がしました。



「月宮迎 竹とり」

今は昔、竹取の翁というもの有りけり。かぐや姫は、満月の夜に翁に見送られて月に帰って行きました。という幼い時に読んだ記憶のある「竹取物語」を、浮世絵で鑑賞出来たのは大きな喜びでした。2人の侍女が持っている翳(さしば)が、作品枠の外に飛び出ているのは、天高く上昇する様子を表現する伝統的な手法だそうです。雲に乗って屋敷を去って行くかぐや姫を眺める翁の驚きと悲しみがひしひしと感じられました。



「きよみかた空にも関のありならば 月をとどめて 三保の松原」海岸の松原越しに富士山を望めることのできる地点で、月を仰ぐ武田信玄。目を見張るような朱色の陣羽織を羽織った信玄の姿は対照的に、眺めている風景は、月の光を浴びて幻想的な雰囲気を漂わせていました。浮世絵には、歴史上の人物が描き込まれている作品も多くあるそうで、明治の人達が、歴史の分野にも造詣が深かったことが察せられました。



NSW美術館日本語ガイドの浜田千枝氏(写真中央)と林さゆりJCS親睦の会会長と共に参加した皆さん。浜田氏には、参加者一同心から感謝申し上げます。益々のご活躍をお祈りしています。

鑑賞後には、美術館内にある清爽感あふれるカフェで、ランチをしながら浮世絵の話題で会話が弾みました。



# JCSのクラブライフ



## シドニーソーラン踊り隊

毎週土曜日に小学校の体育館で練習をしています。

私たちの踊りが少しでも日豪文化交流に結びつくようにと様々なイベントで踊ります。一緒に踊りたい方、大歓迎！お気軽に練習にご参加ください。

練習日:毎週土曜日2時～3時

場所:Cammeray Public School (Palmer Street, Cammeray)

お問い合わせは、Email:jcs.soran@gmail.com まで。

<http://sydneySORAN.wix.com/dancetroupe>



## JCSフラアロハ・ハワイアングループ

JCS Hula Aloha Hawaiian Groupは、明るく楽しく美しく、生き生きと生きるをモットーに踊っています。

楽しく踊って元気になりませんか？

ご興味のある方、先ずはご連絡下さい。

見学歓迎。年齢は問いません。

練習日:毎週火曜日午前11時～12時30分

場所:Dougherty Community Centre, Chatswood

お問い合わせ:e-mail:jcshulaloah@gmail.com Ayaまで



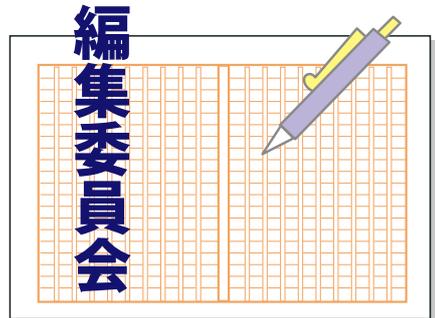
## JCSソフトボール部

ソフトボール大会は毎年5月と11月の2回開催しています。2023年春季大会3位、2024年秋季大会2位、春季大会優勝！

JCSソフトボール部では女性選手を急募中です！一緒に優勝目指しませんか？家族で応援に来ませんか？興味のある方は是非、ご連絡ください。

メール:adasada@hotmail.com または、

電話:0402-048-570 (ソフトボール部部长 さだのり 安達定儀)



## 編集委員会

シドニー日本クラブの会報誌「JCSだより」を編集しています。会員からの投稿をお待ちしています。

また、誌面作りに興味のある方、一緒に会報誌を作りませんか？

興味のある方は是非、ご連絡ください。

メール:k.murn@jcs.org.au (JCSだより編集長 マーン薫)



## 教育支援委員会

シドニー日本クラブの日本語学校三校の運営に関する支援を行っています。その他、継承日本語教育についてのセミナー活動なども行っています。

お問い合わせは、以下までお願いします。

メール:jcs@japanclubofsydney.org または、

電話:0421-776-052 (JCS事務局)

## 「繋がり」を大切に

新入生を迎え、賑やかに始まった一学期もお蔭様で無事に終わることができました。振り返るとクラス保護者会や避難訓練、椋山女学園大学の学生の受け入れなど様々な「繋がり」を感じる今学期でございました。

クラス保護者会では先生方から直接クラスに関するお話を伺うだけでなくご出席頂いた保護者の皆様よりたくさんのご意見やご質問をいただき、改めて各ご家庭のサポートとの連携の大切さを感じました。また、避難訓練ではシドニー総領事館より西村領事にいらしていただき、実際の避難訓練を確認して頂くとともに地域の安全に関する貴重なお話を伺うことが出来ました。

椋山女学園からは本年も実習生が2週間にわたり、ボランティアとして子どもたちの学びをサポートしてくれました。学生さんにとって貴重な経験となるだけではなく子どもたちにも学びや気づきの多い機会となり、生徒たちの楽しそうな様子を見ているこちらも温かな気持ちになりました。本校では今年2名の椋山女学園卒業生が教鞭をとっております。教員不足が大きな課題となっている昨今、シティ校としても嬉しい限りです。これからも保護者の皆様、コミュニティー、日本との「繋がり」を大切にしていきたいと思っております。

## クラス紹介 ねぎとろ組



ねぎとろ組は小学部2年目のクラスです。Y1~Y3の18名で女兒生徒10名、男児生徒8名の活発なクラスです。

毎週元気よく当番2人の朝の挨拶から始まります。当番さんには挨拶の後、教師の質問に端的に丁寧にはっきりと答えてもらい、3学期のスピーチ発表会に備えて、人前に出てきちんと話をするのに慣れていく練習をしています。丁寧な言葉と普通の言葉の違いにも慣れて行って欲しいです。

授業で学習している国語1下の教科書は、国語1上に比べて、ぐんと新しい語彙や漢字が増え、新出漢字の書



き方は勿論の事、同じ漢字でも教科書以外の読み方を紹介しているプリントも使い、来年国語2上に進級した際の学習内容を考慮して、音訓両方指導しています。漢字テストでは、いい成果を上げたことで、もっと自信がついて更なる努力に繋がって行って欲しいと思います。「上げる」「下げる」の漢字の定着の為、赤旗白旗ゲームを紹介し、皆で楽しく盛り上がりました。毎週の漢字の読み書きテストの後に「書き取り」をしますが、小学生が行う書き取りは、漢字とひらがな、カタカナを使って聞いた言葉や文字にして行くことです。書き取りには教科書からの既習文を使い、学期ごとに少しずつ長い文章に挑戦しています。生徒達は真剣に聞いて書く姿勢を見せてくれています。漢字のテストがあまり得意じゃなくても、書き取りでは満点を取る生徒も増えています。授業で行う一斉音読、個別音読も共に大事な学習の一環です。語彙を増やす為、教科書と同程度の7~8分で出来る読解問題と教科書の音読の練習も毎週の宿題です。去年習得済のカタカナも復習として宿題に追加しています。絵日記と読書感想ワークシートは生徒各自のペースで提出しています。図書の利用も定着しています。ねぎとろ組の保護者の皆様の日頃の熱心なご支援に感謝です。

「授業中日本語のみ使用」を徹底させる為、「日本語で話そう」のスタンプ表を生徒に渡し、其々1時間目、2時間目、3時間目の後、日本語だけで、頑張った生徒にはスタンプを押して、激励しています。1学期後半には、授業中の英語の私語は、徐々に減って参りました。

日本語に更に興味を持ってもらえる様、ひな祭りに因んで、折り紙で3D菱餅を作りました。1年を通して時間を設けて日本の歌も紹介しています。「ドリフの早口言葉」、「手のひらを太陽に／手話付き」、「寿限無」を動画に合わせて歌い、楽しくチャレンジして行きます。子供達はとても覚えが速く嬉しい驚きです。

(担任:ケネリー千恵美)



## JCS日本語学校ダングス校 JCS Japanese School Dundas

学校 Dundas Public School (85 Kissing Point Road, Dundas NSW 2117)

連絡先 PO Box 1072, Dundas, NSW 2117 授業 毎週土曜日/9:30~12:15

Email jcs-jpschdundas@live.com Web <http://dundas.japanclubofsydney.org/index.html>

ダングス校では、1学期後半も、各クラスで工夫を凝らした授業が行われました。かざぐるま組とたんぽぽ組の合同書道教室では、書道家でもある宮本恭子先生にご指導いただき、筆を使って名前や文字を書く練習をしました。大河組では、プロフェッショナルな保護者3名をお招きし、それぞれの専門的な職業について、貴重なお話を伺うことができました。大地組では、こま回しの体験授業が行われました。イースター休暇を挟み、リフレッシュして2学期に臨んでまいりたいと思います。

### クラス紹介 若葉組



今年から若葉組を担当します林和子です。若葉組は、四年生の教科書を軸に漢字・物語りの音読・言葉の意味・文章の内容読解・文法など、いろいろな方向から四年生レベルの基礎知識を学習できる様にカリキュラムを作成しています。

生徒は、男子6名と女子8名のクラスです。皆さんとても真面目で静かに学習しています。1学期には、ロックダウン・避難訓練がありました。毎年行われる行事の一つですが、現在の社会情勢を鑑みて、真剣に取り組む必要性が高くなっている事を子供達が理解しているかどうかを話し合いました。また学習において、日本の都道府県の特徴を各自調べて発表し、質問に答える授業をしました。質疑応答で丁寧語を使うなど、状況に応じて使い分けができる様に、学習の一部に取り入れていきたいと思っています。それでは、若葉組の生徒へのインタビューを楽しんでください。

**皆さんへの質問:**日本語を勉強していいなと思うこと、または、楽しいなと思うことは、なんですか？

**片野伊理也くん:**日本語を習うのは楽しいし、書くことが楽しいです。日本人としゃべったり話し合ったりすることが好きです。

**ウエスト夏緯くん:**家族と話す時、日本に行った時、日本語を勉強していて良かったと思います。

**倉田エマノエルさん:**日本語を習っていて一番楽しいことは、新しい漢字を習ってテストをすることです。他には、たまに日本のゲームをするのも楽しいです。今書ける一番難しい漢字は「観」です。今年の漢字はほとんど今まで習った漢字を組み合わせているものだから、覚えやすいです。

**マー恋音さん:**学校で楽しく日本語を習っています。テストの時ワクワクします。お母さんとしゃべる時に日本語を習っていて良かったと思います。

**デルブラド理咲さん:**いろんな漢字を習ったり、意味がわかったり、テストの時、簡単に書けたりすると嬉しくなります。日本に行った時、習った漢字が出てくると、勉強していて良かったなと思います。

**中台環くん:**日本に行った時に、読めない漢字や、わからなかったことがわかるようになった時、良かったと思います。一つじゃなくて、二つ言語をしゃべれるのはいいと思います。おじいちゃんおばあちゃんは、ほんの少ししか英語がわからないので、助けることができます。

**根岸優衣さん:**日本語を習っていると、日本のおじいちゃんおばあちゃんにあった時、いろんなことをいっぱい話せるからです。毎年一回ぐらいは日本に帰ってあっています。ときどき電話でも話します。

**リー利夫くん:**漢字テストでちゃんと書けた時、良かったなと思います。いつもママとは日本語でしゃべっています。

**モリス愛莉さん:**日本語は楽しいけど、ちょっと難しいです。楽しいと思う時は、パズルとか、漢字テストの勉強とかです。難しいと思うのは、漢字テストの時ちょっと忘れてしまうからです。日本語でアニメとかを読むのが楽しいです。



**山田りおんくん:**わからなかった漢字が読めるようになるのが嬉しいです。日本語で理科の本を読むのが好きです。

**バトラー・ケイティリンさん:**日本に行った時、もっと簡単に日本語をしゃべったり、書いたり、読んだりできることです。おじいちゃんやおばあちゃんと話す時にも役立ちます。

**野村正人くん:**日本語の本が難しくてもスラスラ読めるからいいと思います。小説を読めるようになって嬉しいです。

**ジャン美凧さん:**漢字テストで100点が取れると「やったー」って思います。あとはローカルの学校で日本のお友達がいて、日本語で秘密のお話ができます。

**片山小遙さん:**日本の人と喋れたり、日本語が分かったりした時、楽しくて嬉しくなります。ときどき日本に帰っていとこと遊んだりします。日本に帰ると日本のキャラクターとか日本のミュージシャンのライブに行ったりするのが楽しみです。



## JCS日本語学校エッジクリフ校 JCS Japanese School Edgecliff

学校 Ascham School (188 New South Head Road, Edgecliff NSW 2027)

連絡先 PO Box 1171, Potts Point NSW 1335 電話 0413-430-726 (授業日 13:30-17:00) 授業 毎週土曜日 / 14:00~16:35

Email jcs.edgecliff@gmail.com Web http://edgecliff.japanclubofsydney.org

### 子供の成長を一緒に祝う

2学期初日は『子供の日』のお祝いから始まります。毎年各クラスで、その年齢のレベルに合った工作活動を楽しみながら日本の行事に親しんでもらえるよう工夫しています。毎年恒例の巨大鯉のぼりを持ってのクラス記念撮影は、生徒たちの成長が感じられる瞬間でもあります。数年前には鯉のぼりが巨大すぎて顔を出すのも精一杯だった幼児部の子供達も、今ではグンと背が伸びて余裕の表情です。2025年もエッジクリフ校の生徒たちの健康成長、多方面での活躍を心から願っています。

### エッジクリフ校自慢の先生特集

#### ★第二弾★久保雅子先生(つばき組)

つばき組の生徒達に聞いてみました。

Q:まさこ先生はどんな先生ですか？

生徒1:やさしい先生。

生徒2:いつも面白い話を宿題に出してくれる先生。漢字は難しい。



優しさで溢れる雅子先生のクラスは昨年に続き2クラスが合併し、年齢も日本語レベルにも差があり、人数も多いクラスです。そんな大変なクラスですが、昨年から引き続き大きな器で受け持ってくれている雅子先生はIT関係が得意で、スタッフ内でIT関連の困ったことがあると、「雅子先生に聞いてみましょう！」といつも非常に頼られる存在です。IT以外のことでも、クラスで盛り上がったアクティビティの情報提供を欠かさずしてくれる横のつながりを太くする立役者になっています。

人数が多い上にレベルの差に合わせた授業作りはとても大変だと思いますが、昨年から試行錯誤しながら、クラス内で助け合いながら、自ら考え、楽しく日本語学習

できるような様々な取り組みを考えてくれています。例えば、生徒たちが得意な折り紙と教科書学習『スイ



ミー』を合わせて、得意な分野を役割分担しながらスイミーの折り紙劇を練習して、各クラスに折り紙劇の読み聞かせを行いました。昨年の終業式とお楽しみ会では、クラス新聞を作成するためになどなど・4コマ漫画・アンケート調査と結果分析などあらゆる項目の記事をグループで一つにまとめて発表したりと土曜日の短い時間でも生徒達が日本語を使って様々なことに挑戦できる機会を作ってくれています。

今年は昨年からの生徒たちの漢字学習の意欲を汲み取り、1年生から3年生までの漢字を全ての生徒が自分のペースで学習できるような課題を準備し、毎週1時間目に取り組みせています。生徒たちは学年別の漢字表や持参の漢字辞書を駆使しながら、漢字プリントを自分のペースで進めています。自主学習の中でも友達と声を掛け合いながら、助け合う姿も見られ、自ら学ぶ姿勢が大変頼もしく見えました。このような自主学習の時間が、自宅で日本語を自ら学ぶ姿勢に繋がる良い練習になっているのではないかと感心させられました。まさに、エッジクリフ日本語学校の目指す＝”学校で学習の種を蒔く”を実践してくれています！

最後に、お休みに出された工夫ある宿題を紹介します。

#### 【宿題】:はっばのずかんをつくらう

紙にはっばのかたちをうつしとって、じぶんだけの「はっばずかん」をつくってみよう！



つばき組では授業の中で国語だけではなく、色々な科目の要素を入れた文章や問題文などを読んでいます。それを発展させた、家族と一緒に楽しめる宿題になっています。生徒たちも楽しく日本語学習ができたようです！

この機会に、いつも素敵なアイデアを共有していただき、子供たちが楽しめる授業を準備して下さる雅子先生に、エッジクリフ校運営委員一同感謝を送ります！

# 総領事館からのお知らせ

※在シドニー日本総領事館からのメールマガジンの抜粋です。総領事館からメールマガジンが発信されていますので、こまめに最新情報を得るようにしてください。

## 1. 領事情報

### ○旅券発給体制の変更

3月24日から「2025年旅券」が発給開始されました。当館で旅券申請を行うと、旅券冊子は日本国内で作成され他後、当館に配送されます。申請から交付まで2週間～1ヶ月程度の期間が見込まれ、これまでよりも旅券発給までの時間が必要となります。旅券の紛失や盗難、有効期限切れ等にご注意いただき、早めの旅券申請手続きを行うようにしてください(※旅券申請は、残存有効期間が1年未満になると申請が可能です)。

### ○マイナ免許証について

3月24日から、運転免許に関する情報をマイナンバーカードに記録する「免許情報記録個人番号カード」(通称、マイナ免許証)の運用が開始されました。ただし、マイナ免許証はカード券面上に運転免許証に関する情報が表示されません。このため、日本国外では運転免除に関する資格を示す情報の提示が困難となる可能性があり、日本国外での運転や、外国の運転免許証への切替手続きに支障を来すおそれがあります。海外でのご生活をする方については、「従来のカード式の運転免許証」を取得するようようにしてください。

### ○在外選挙人名簿への登録

今年の夏頃には、参議院議員選挙が行われる見込みとなっています。日本国外に居住されている満18歳以上の日本人が、国外で国政選挙に参加するために「在外選挙人名簿」への登録が必要です。

登録手続きに関しては、当館で申請手続きが可能ですが、登録後に発行される在外選挙人証が交付されるまでに2か月程度の時間を要しますので、海外で投票を行いたいとお考えの方は、お早めに在外選挙人名簿への登録手続きを行うようにしてください。

### ○DV被害者支援のための相談窓口のお知らせ

当地でDV被害者等を支援する団体「Bonnie Support Service Ltd」と提携し、ドメスティック・バイオレンス(DV)で悩んでいる邦人のための相談窓口を開設しています。

対象は、NSW州にお住まいの邦人女性(及び子供)で、相談者は、日本語によるサービスを受けることができます。DV被害でお悩みの方は、まずは下記相談窓口までご相談ください。(NSW州以外の地域にお住まいの方については、情報提供やお近くの相談機関のご紹介を行います。)詳細は以下のリンク先からご確認ください。

<https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/document/japanese/consul/20230828dv.pdf>

## 2. 治安・安全情報(犯罪統計の公表)

3月中旬にNSW州犯罪統計局が発表した犯罪統計によれば、強盗、住居侵入、窃盗及び器物損壊の件数は10年前より大幅に減少している一方、ドメスティック・バイオレンスに関連する暴行・傷害、性犯罪は過去10年間増加傾向にあり、依然として大きな課題となっています。また、サイバー空間における犯罪の発生率も高止まりの状態となっており、犯罪被害に遭わないよう十分ご注意ください。

### ・海外安全虎の巻 2025

海外で発生する様々なトラブルに巻き込まれないための予防策やトラブルに遭った場合の対処を紹介しています。

<https://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pdf/toranomaki.pdf>

### ・ゴルゴ13の中堅・中小企業向け海外安全対策マニュアル

外務省が在外邦人の安全対策のためにデューク東郷(ゴルゴ13)に協力を要請したとのシナリオで、海外安全対策を紹介しています。※劇画部分はフィクションです。

[https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen\\_info/golgo13xgaimusho.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/golgo13xgaimusho.html)

### ・海外安全アプリ

海外にお住まいの方や海外旅行・出張中の方に、安全に係る情報をお届けすることを目的としたアプリです。

[https://www.anzen.mofa.go.jp/c\\_info/oshirase\\_kaian\\_app.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/oshirase_kaian_app.html)

## 総領事館からお願い(在留届の提出)

外国に3か月以上滞在する日本人は、最寄りの大使館や総領事館等に「在留届」を提出することが義務付けられています。大規模な災害が発生した場合など、当館では、オーストラリアの関係当局に連絡を取って邦人の被害について確認をする一方、在留届を確認して該当地域にお住まいの方に、直接ご連絡して安否を確認することがあります。在留届は、このような災害時の安否確認にも使用いたしますので、届出内容に変更(住所や同居家族の変更等)が生じた場合には「変更届」を、帰国の際には「帰国届」をご提出いただくようお願いいたします。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html>

# 大きな声では 言えない話



## 免許はやるけど、運転するな

もうウン十年前の話になるが、若いころ、日本で運転免許を取った時のこと。自動車教習所の技能教習(実際に車を運転し、運転技術を習得する)で、何度か隣に乗ってもらった教官がいた。けっこう話しやすい、いいおじさんだった。卒業検定を受けたあと、その教官が私に言った。「あんな、免許はやるから。でもな、運転はするな」。いま思えば、爆笑モノである。実際、この話は昔ダンナに話したときに大笑いされた。そう、大きな声では言えないが、私は運転が苦手なのである。特に、車間距離とか、道路の端からの距離感とか、苦手意識がある。長距離は運転しないものの、もう長いこと運転しているから、さすがに苦手意識は薄れてきた。それでも、駐車するときとか、何度もやり直したり、駐め方がやや斜めになってしまったり、「へたく

そ〜!」と我ながら思ってしまうことがある。

実は、もう一つ運転のエピソードがある。日本からシドニーに永住して数年後、シドニーで運転しようと決めた時、ペーパードライバーだったので、練習のためにシドニーの日本人の教官に10時間ほど乗ってもらった。その後、いまでいうNSW州運輸省が行う実地試験を受けることにした。(昔は、いまとは運転免許取得のプロセスが違った。)だが、その日本人の教官は、私の運転スキルにかなり辛口だった。「いや〜テスト受けても絶対に落ちますよ。まだ受けられない方がいいですよ。無理ですって!」と言われ、ムツとした私は、実地試験を受けてみた。そしたら、テストの時は練習の時よりぐっと運転がスムーズにでき、結果は、なんと一発で合格。そのことを日本人の教官に話すと合格が信じられないようで、私は内心、ほくそ笑んでいた。

思い起こせば、運転技術に関してはいろいろな経緯があったなあ。それでも、もうシドニーでの運転歴は25年以上。日常的に運転している。いま、この原稿を書いている、「人間、やれば克服できるものなんだ!」と妙な達成感を感じている(笑)。(ケーエム)



ここが気になる



## トランプ米大統領のDeal

トランプ大統領の各国に対する関税の引き上げは、「世界的に恐慌を招く行為だ」等と、世界各国の非難的と

なっている。私はトランプ大統領のこの行為は、単に「Make America Great Again!」とする貿易収支の是正にとどまらず、より大きな野望が隠されていると考えている。それは世界秩序を根本的に変える一環として、中国を排除した新たな経済ブロックを確立することである。現に、中国以外の国に対する関税の増額は3か月間停止され、その間に各国との交渉が進められている。トランプ

大統領の交渉の仕方は、常に最大限の難問を突き付け、相手をひるませた上で交渉(deal)することにより、目的を達成する手法である。

## スポーツ天国



### U23ラグビー日本代表逆転負け!

先月号でお知らせした、4月15日のラグビーU23(23歳以下)日本代表とランドウィックとの国際試合は、ランドウィックリードの7-19で前半を終了しましたが、日本代表は後半26-26まで追いつき、その後逆転に成功!しかし最後に振り切られ、31-36で負けてしまいました。豪州での日本代表の全試合の結果は1勝2敗となりました。選手やスタッフ、そしてチア



や応援して頂いた皆さん、本当にお疲れ様でした。(写真は、さくらきっずから頂きました) (ぴか)

会員の皆さんからの情報も受け付けています。Eメールは、kenerit@gmail.comです。よろしくお願いします。(ぴか)



## My Favorite Photo

自分にとって忘れることのできない写真、いつも飾っている思い出の写真、二度と撮れないシャッターチャンスの写真、大好きな人・有名人・尊敬する人との記念の一枚…など、My Favorite Photoを文章とともにお送りください。



### ANZAC DAYに世界の平和を祈る

これが何の写真か即座にわかる人はよほどのオーストラリア通だ。真っ赤な花、ポピーの花畑だろうか？しかしよく見ると人工的に作られている。ではアート作品の一種だろうか？実はこれ、キャンベラの戦争博物館で2018年に展示された、第一次世界大戦を記念するディスプレイである。一つ一つ手作りされた真っ赤なポピーは、かの戦争中に亡くなった6万2000人のオーストラリア人を象徴している。石とコンクリートの灰色の現代建築である戦争博物館の中で、ひととき鮮やかな真っ赤な花々のコントラストの美しさに胸を打たれると同時に、その血のような赤さに生の儂さを感じる。命は脆く儂く、そして何より尊く美しい。

あのディスプレイから7年、世界は再び危うい方向に向かっていくようにも見える。どうか、もう戦争はやめよう。争いを、やめよう。どっちが正しいとか間違っているとかではない。戦争をすることなく、人間は互いを認め合い、違いは違いとして受け止め、協調して生きていける英知をすでに手に入れているはずだ。4月25日はANZAC DAY。この写真を眺めつつ世界の平和を祈ろう。

(さかな)

# 外食日記



## Blue Heaven

住所: 238 Forest Rd, Hurstville NSW 2220

電話: (02) 8018-8108

予算: \$20

営業時間: 毎日11am-3pm, 4-10pm

雰囲気 8、料理 8、サービス 9



今月は最近オープンしたばかりのHurstvilleにあるミャンマー(ビルマ)料理です。Hurstville駅をForest road側に降りて右に進むと見えてきます。店名のとおり青い看板が目印です。

注文したのは、Fish Noodle Soup (Mohinga) (写真)とCoconut Noodle (Ohn no kauk swe)です。Mohingaは現地を含め過去に何度も食べたことがありましたが、こちらのお店の料理は見た目が美しく洗練されています。スープは、魚から出汁をとった独特の風味がぼちり出ていました。麺は米粉で作られたもので食感は柔らかめです。これが少しとろみのあるスープと一体化して良くマッチしています。これに、ひよこ豆のかき揚げがクリスピーな食感で対照的です。完成度の高い一品でした。もう一品はココナッツベースのオンノ・カウスエです。チキンとココナッツのスープが良く合っているのに加えて、紫玉ねぎの風味と食感が相乗効果を発揮していました。



佐藤至子

## 第125回 しびれ、京へのぼれ

日常生活のなかで、正座をすることは以前よりも少なくなっているかもしれない。和室での集まりなどでたまに正座をすると、すぐに足がしびれてしまう。いったんしびれてしまうと立ち上がるのも一苦勞で、ふつうに足を動かせるようになるまでに少し時間がかかる。

江戸時代には、足がしびれた時に「しびれ、京へのぼれ」というおまじないを唱えたという。なぜ「京へ」なのかはわからないが、子供が転んで痛い思いをした時に大人が「痛い痛い飛んでいけ」と言うのと同じような感覚だろうか。「京へのぼれ」というからには、このまじないは京都以外の地域で通用していたと考えるべきかもしれない。

さて、18世紀の後半に江戸の人々が楽しんでいた黄表紙(絵入りの娯楽小説)には奇想天外な内容のものが多いが、そのなかに、足や臍(へそ)、手といった人間の体の部分と「しびり」(しびれ)を擬人化した『笑語於臍茶』(おかしばなしおへそのちゃ)という作品がある。北尾政演(きたおまさのぶ)こと山東京伝が挿絵を描いており、1790年(安永9年)に出版された。作中では、足が、自分は

寒い時でも足袋を一枚着るだけ、尻には敷かれっぱなしであまりに無念であると思い、頭をわずらわせて鬱憤を晴らそうと考える。「しびり」は京へ上って様子をうかがう。左右の足は「しびり」をおこし、「しびり」は頭の方へ上り、頭は頭痛がおきて苦しむが、手を使って揉んだり、お灸をすえたりしたので、「しびり」はたまりかねて退却する。ひとまず騒ぎは収まったが、臍は、自分は「五体の締めくくり」であるから事態をこのままにしておくことはできないと考え、両足と土踏まずを呼んで、慎むことが大切だと教諭す。また、頭に対しては、わざわざは下から起こるもの、上のものは下のものを憐れむべきだと述べて、丸くおさめる。

「しびり」が京へ上る場面が「しびれ、京へのぼれ」というおまじないの文句をふまえたものであることは言うまでもない。挿絵には笠をかぶって荷物を背負った「しびり」の姿、つまり、まさに上京する旅人として歩いている様子が描かれている。臍は身体を中心であるといった、当時の人々の身体観がかいま見える点でも興味深い作品である。

\*参考文献 『山東京伝全集 第一巻』ペリかん社、1992年

## 私のドリームホーム ⑱



順に入ってくるビルダーの見積りに心臓が飛び出しそうになりました。最初に建築士からもらったおよその見積りを大きく上回り50%も高い値段になっています。また、よく聞く話ではリノベーションをしている途中であちこちの不具合が見つかり、その追加工事でさらに出費があること。私達が建築士に依頼しているリノベーション部分はあくまで家の基礎部分であるのでこれだけの出費があるにもかかわらず、家の中は全く新しく直されて綺麗になるわけではありません。建築士に依頼する前にはキッチンとバスルーム、ランドリーもリノベーションしたいと思っていましたし、タープがかかったままの

屋根も新しく張り替えなければなりません。どうやら家の中のリノベーションは全ての基礎部分と屋根が終わってからやるしかないようです。一体リノベーションにいくら掛かるのかは終わってみないとわからない状況になってきました。私のキッチン、バスルーム、ランドリーのリノベーションは夢のように遠のいていくのでした。

ここまで聞いていたら、「そんな家売ってしまったらどう?」と言われそうです。実際に既に独立している息子さんからそのように言われています。でも残念ながら今売ってしまうと色んな税金がかかってしまうのです。まず最初に出てくるのがキャピタルゲインタックス。私達はこの家をずいぶん長い間賃貸していたので6年以上住まないでキャピタルゲインタックスがかかってしまいます。もちろん売ったらどこかに買わないといけないのでその際にはスタンプデューティーがかかります。この2つだけを計算したらとんでもない金額を失うことが分かりましたので売るという選択肢は却下となりました。そして次の理由としては家のひび割れは値段の買い叩きがあるとわかりきっているからでもあります。なにはともあれやはりひび割れを直すしか選択肢はないようです。

(マイホーム)

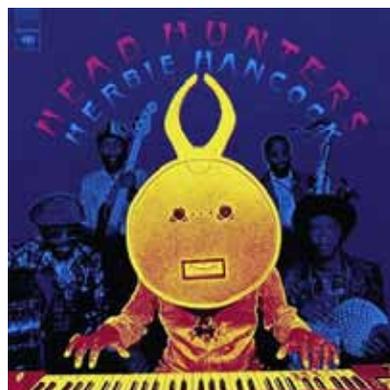
# Hiroの音楽最高！



こんにちは、Hiroです！今回紹介させていただく曲は「Watermelon Man」です。

この曲はご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、ハービー・ハンコックというジャズピアニストが作曲し、1962年に発表されたそうです。先日Youtubeのショート動画でハンコック氏のインタビューを観たのですが、そこでこの曲が生まれた背景を語っていました。

彼はシカゴの出身ですが、ある時イリノイでスイカ畑を見て、畑を耕すための大きな車輪のついたものを黒人たちが引いているリズムを感じ、「スイカ売り」を思い出し



たそうです。ただしスイカ売りの売り声には特に音楽的インスピレーションはなく、その代わりにアメリカの中西部や南部の田舎の家のフロントポーチに腰掛ける黒人女性がスイカ売りに声をかける言葉を想像した時に、「Hey, Watermelon Man！」というメロディーが浮かび、この曲が生まれたとおっしゃっていました。

その後、キューバのコンガ奏者「ラモン・サンタマリア」がこの曲をカバーし、1963年に大ヒットし、さまざまなカバーバージョンがあります。おすすめはJimmy Smithというオルガン奏者のバージョンですが、結構Funkyな仕上がりになっています。ジミー・ヘンドリックスもカバーしているそうなので聴いてみたいと思います！



## ワインの話

「ワインの話」では、リーズナブルなプライスでありながら、クオリティの高いオーストラリアのワインを紹介します。

**Kim Crawford Pinot Gris 2024**

★★★★☆

Kim Crawfordは1996年から始まったNew Zealandのワイナリーでクオリティの高いワインを作り出してきた。

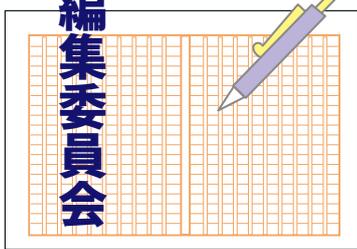
小さな島国でこのワイナリーは北部から南部までVineyardを持ち、グレー

プの種類も幅広い。New Zealandで一番ポピュラーなSauvignon BlancはもちろんMarlboroughの地域で作りが、Pinot Noir, Chardonnay, Roseも作り出しており、多様性が頼もしい。

その中でPinot Grisというとあっさりしたものが多いが、このワインはフルーティな味わいと少しのコクがあり、オリーブのテイストもあって飲みやすいながらもしっかりした味で嬉しい。シーフードやアジア系の料理に合うお勧めのワイン。



### 編集委員会



## 本誌「JCSだより」の誌面レイアウト担当者募集！

本誌「JCSだより」の誌面レイアウトを担当される方を募集します。レイアウトソフトのInDesignの経験者が望ましいですが、異なるソフトでも構いません。誌面レイアウトには、原稿内容を確認しながら適宜、修正したりする編集・校正的な作業も含まれます。そのため、日本語の読み書きがネイティブレベルの方が望ましいです。JCSだよりの発行は年12回で、毎月1日発行です。なお、少額ですが、レイアウト手当があります。応募希望者は、編集長までメールでこれまでの経験や作品などを送ってご応募ください。

マーン薫編集長(k.murn@jcs.org.au)まで。

### 七味コーヒー



AKIPANはベーカリーですから、パンに重きを置いているのは当然なのです。がしかし、僕の想いの中においては、カフェとしてお客に提供するコーヒーも、パンと同様に大事な事柄です。

僕自身がコーヒーから受けたインパクトは、過去に3回ありました。ひとつは34年ほど前、撮影の仕事でLAに滞在していた際のこと。スターバックスという店がシアトルから進出し、ものすごい行列ができていたのを見て自分も飲んでみたところ、そのエスプレッソとラテに魅了されたこと。それから数年後、イタリアのルッカという田舎街で、やはり撮影の合間に飲んだ1杯のエスプレッソが、さりげなくかつ驚異的に美味しかったこと。そして11年ほど前にオーストラリアへ移住し、エスプレッソの文化が独自進化を経て、ある境地に達していると感じたこと。

こういった体験は常に僕の好奇心を駆り立て、自分でそれらに負けないコーヒーを淹れるにはどうしたらよいか、という探究心を際限なく引き出すには、必要にして十分だったわけです。安物のエスプレッソマシンに始まり、時折アップグレードを経て段々と良いマシンに買い替えては、家に遊びに来てくれる友達や、何らかのセールスマンにまでもコーヒーを振る舞い、フィードバックをもらっていたものです。バリスタになりたいと思ったことは一瞬もなく、とにかくあの感動する1杯をこの手で作り、日常的に飲みたいだけでした。

ですからシドニーで店を開ける際に、ベーカリーであっても素敵なコーヒーを必要とするのは必然だったわけです。しかも大手ロースターと契約すれば、マシンも貸してくれるし、あらゆる道具とスタッフのトレーニング、

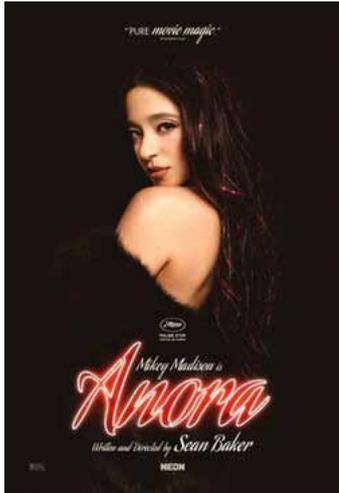
マシンのメンテナンスまで面倒を見てもらえる！？

いやいや、とんでもない。マシンもグラインダーも、どんなに小さなツールやガジェットであっても、目指す味を表現するためには全て自分で決めたいところ。業務用のエスプレッソマシン選びは、車を買うのと同じ様に楽しくワクワクするもので、それを人に任せるなんて考えられません。そんな過程があった上で、今のAKIPANでのコーヒーがあります。

このところ徹夜仕事が多く、深夜にも濃いめに出したコーヒーをよく飲みます。そんな中で思いついたのが、適度にスパイスの効いたコーヒー、七味コーヒーです。色々組み合わせを試してみたところ、抽出時に辛めの七味を通して下味をつけ、ラテの表面には京都産の香りに重点を置いた七味をふりかけ、最後に辛味(赤み)を少し足して仕上げたものが、とても綺麗で美味しかった。喉が痛い時にはお勧めできないけれど、少々辛味が得意な方には是非飲んでみていただきたい。

あと、試作の過程で発現したブラックペッパーコーヒーもメニューに加えました。是非お試しください。

さて、最近の新しい食パンメニューは“Wholemeal Grain”です。全粒粉を多めに使った上でマルチグレインをミックスした、内層もやや穀物カラーのしっかりした角食です。アメリカ風のグラハム食パンとも思いましたが、この国ではやはり、ホールミールとするのが通りが良い様です。お米ご飯で言うなら玄米に近い、少し身体に気を遣った食事パンとして、皆さんのテーブルに載ることを願っています。



## Anora (アノーラ)

監督・脚本: ショーン・ベイカー

出演: マイキー・マディソン、マーク・エイデルシュテイン他

制作: 2024年アメリカ

上映時間: 139分

※2025年アカデミー賞5部門受賞(作品賞、監督賞、主演女優賞他)、2024年カンヌ国際映画祭パルムドール受賞

### ●作品概要

アノーラ(アニ)はニューヨークに住む23歳のストリッパー。ある日店主から「ロシア語を流暢に話せるダンサーを希望する」という客を任せられる。それがロシアのオリガルヒ(特権階級の富豪)の息子である21歳のイヴァン(ヴァンヤ)との出会いだった。アニをいたくお気に召したヴァンヤは大晦日のパーティーに彼女を招待し、その後1週間1万5千ドルで「彼女契約」を結ぶ。さて、この現代版シンデレラストory(?)の行方は一体どうなる?

\* \* \* \* \*

●最初の頃はシンデレラストoryかと思って見ていたのですが、すぐに1990年に上映されたジュリアロバーツとリチャードギアが共演をした「プリティウーマン」になってきて、途中から21世紀の現代では、話はこうなるのかと思った次第です。携帯電話あり、SNSあり全てが今風に時代背景がセットされています。中でも驚くのは最近

教育に悪いと言って聞かなくなった汚い言葉(Coarse Language)が頻繁に使われていることです。アメリカンドリームじゃない映画の本来あるべき本物の姿とはこういったことなのかもしれません。沢山の賞を受賞したようですが、映画を見終わってから「一体私は何を見せられていたのか、一体何を書けばよいのか」と悩んだものの全編の映画取りはカメラを使わずiPhoneでの撮影だったというのには驚きました。(★★★☆☆ 青い鳥)

(ネタバレ注意!) 若い女とのセックスを求める男と、裕福な男の金を求める女の間に、愛は成立するのか?つまり究極のところ愛とは何だろうか?という問いを提示するコメディである。表面的には、ヴァンヤの富豪の両親がアメリカに彼を迎えに来て「娼婦との結婚などトンでもない!」と二人の仲を引き裂いてヴァンヤをロシアに連れ帰ることで彼らの愛は終わる。しかし一見情熱的で甘い時間を過ごしたヴァンヤとアニとは、本当に深く愛し合っていたのか?彼らの金とセックスでゴージャスに盛り上げられた「恋愛ごっこ」がいかに脆くはかない関係だったのか。それが皮肉にも、登場人物の一人であるヴァンヤのボディガードの示すアニへの、ある種の優しさや誠実さとの対比によって、痛々しくも示されてしまうエンディングは、このドタバタ喜劇にほっと一息つける温かさとほろ苦さを与えてくれる。

(★★★★☆ さかな)

(ネタバレ注意!) 大富豪の御曹司イヴァンと結婚し、貧しく悲惨な環境から抜け出そうとする主人公アノーラ。アノーラは性や若さを武器にイヴァンを虜にするが、二人が惹かれ合うような心理描写がなく、結婚も単なる利害の一致に見える。イヴァンの家族は彼女を認めず、両親が別荘に送り込んだ屈強な男たちとアノーラの激しい攻防戦が繰り広げられる。アノーラが孤軍奮闘する場面は見ごたえがあり、主演のマイキーの演技力が評価されているのが分かる。しかし、アノーラの戦いは本当に愛のためだったのか?贅沢な暮らしを守るためではなかったのか?結婚の事実だけにすぎた彼女の姿には、金持ちに屈しない意地も見える。彼に愛されていると心のどこかで期待していたのかもしれないが、イヴァンは両親に逆らえず、妻を置いて逃亡。アノーラは全力で戦い、そして敗れた。コメディ要素を交えながらも、「人生は甘くない」というリアルなテーマを描いている。両親から送り込まれた男の一人、イゴールとのラストシーンは、唯一彼女を気にかけてくれた彼への恩返しだったのかもしれない。

(★★★☆☆ 桔梗)





# 進め!

## マルチカルチュラルイズム

### 第31回 選択的夫婦別姓を考える

by.Yushiro

オーストラリアは移民の国として、多文化・多民族政策を推進しています。まさに多様性を重視した教育や社会生活が営まれているのですが、これは長年にわたる民主主義の発展の結果だと思えます。ところがトランプ米大統領は、民主主義や多様性を象徴するDEI(多様性、公正性、包括性)を終了する大統領令を出したり、就任演説で「性別は男と女の二つだけだ」と宣言したり、ホワイトハウスのサイトから「LGBTQ」や「性自認」などの用語を消したりしています。高関税政策が取りざたされていますが、その一方で、これまで積み上げられてきた民主主義の成果がことごとく崩されていて、ここにきて世論の反発も大きくなっているようです。

一方、オーストラリアでは5月3日に連邦総選挙があります。当初は野党保守連合が優勢でしたが、最近の世論調査では与党労働党が支持率を回復しています。新聞によると、原因はダットン自由党党首がトランプ大統領まがいの政府の効率化や、DEI担当職員の解雇を表明するなどして、国民の反発があるようです。やはり多様性重視の声はここオーストラリアでは強いようですね。

#### 国際化の陰で進まないDEI

いま日本は再びインバウンドブームで、海外からの観光客が増えています。2024年に日本を訪問したオーストラリア人は92万人で、今年は100万人を超えと言われています。コロナ禍により一時的に減少した国際移動も、ここにきて再び活気を取り戻しつつあります。

海外に住む日本人は約130万人で、国別では、米国が41万人と一番多く、次いでオーストラリアが約10万人と、中国を抜いて2位になっています。オーストラリアの日本人の内訳は、長期滞在者が4万71人、永住者が6万4070人で、シドニーには3万1193人が住んでいます。(注1)

日本人の海外移住者も増え、国内もインバウンド外国人の受け入れが日常になっていますが、その一方でジェンダーギャップ指数が国際的に最低ランクです。まだまだ男性優位社会が根強くあり、男女共同参画や女性活躍促進を訴えてはいるものの、遅々として進んでいません。その象徴としての選択的夫婦別姓も、いま国会で論議になっていますが、ここにきて保守系議員の反対の声が大きくなっているようです。

#### 夫婦別姓だと家族が壊れる？

選択的夫婦別姓に反対する人たち、とりわけ日本会議や旧統一協会などが声高に、「日本の文化・伝統が滅びる」「家族が壊れる」などと言います。しかし一般の人が姓・氏を使えるようになったのは明治時代で、夫婦同姓は明治31年の旧民法からです。「姓が異なると家族の

一体感を持ってない」と言っても、日本の長い歴史のうち、1898年(明治31年)からの127年を「伝統」としているわけです。家父長制の下、男子承継の家制度の中で生まれた夫婦同姓は、戦後の改正民法で「夫婦は、夫または妻の氏」を選ぶことにはなりましたが、実際にはほとんど女性が改姓していて、事実上の男系主義が残っています。それに夫婦同姓を義務付けている国は日本だけです。

#### 国際結婚家庭の子供はかわいそう？

最近では「両親が別姓だと子供がかわいそう」との反対理由をあげる人がいますが、離婚家庭や国際結婚家庭、事実婚家庭の子どもたちの現状に対してこれまで一度も「子供がかわいそう」とは言わず、選択的夫婦別姓の機運が高まると急に「子供がかわいそう」などと言い出す節操のなさに呆れるばかりです。

また、通称使用の拡大を訴える声もありますが、根本的な解決にならないのは明らかです。そもそも戸籍名と通称の二つを海外で使い分けることなどできず、通称ではトラブルが解消されないと経団連も訴えています。

#### 国民の多くが選択的夫婦別姓を支持

世論調査(注2)で、①選択的夫婦別姓の導入に賛成42%、反対23%。②通称使用の拡大に賛成62%、反対10%。さらに通称使用の拡大に賛成した人のうち、選択的夫婦別姓に賛成61%、反対18%でした。要は両方とも賛成が多数ということです。あくまでも選択なので、同姓・別姓・通称を自分で選びたいということでしょうか。

別の調査(注3)では、事実婚の方が事実婚を選択した理由に「自分(相手)が改姓を望まない」を挙げた人が約3割います。事実婚の約半数、20代では6割以上が、選択的夫婦別姓が導入されたら法律婚に移行すると回答しています。つまり、結婚待機人数が約60万人いることになります。さらに他の調査(注4)では、①自分は夫婦同姓がよい。他の夫婦も同姓であるべきだ14.4%。②自分は夫婦同姓がよい。他の夫婦は同姓でも別姓でも構わない35.9%。③自分は夫婦別姓が選べるとよい。他の夫婦は同姓でも別姓でも構わない34.7%。④その他・わからない15.0%という結果で、②と③の合計70.6%が夫婦別姓を容認しています。あくまでも「選択的」だから当然ですね。果たして国会審議が進んで選択的夫婦別姓が法制化されるのでしょうか、要注目です。

(注1) 海外在留邦人数調査統計(2024年10月1日現在) 外務省領事局政策課

(注2) 毎日新聞2025年1月

(注3) 選択的夫婦別姓、事実婚当事者の意識調査(2025年3月) 慶應義塾大学文学部・阪井裕一郎准教授/一般社団法人あすには

(注4) 「選択的夫婦別姓」に関する意識調査(2020年10月) 「選択的夫婦別姓・全国陳情アクション」/早稲田大学棚村研究室



## 【第43回】

### Talent Showcase

ここで何度も触れているように、私の勤務している学校というのは英語を母国語としない生徒がオーストラリアに移住し、ローカル校で学んでいくために必要とされる英語力&知識を培うために一時的に在籍する特別学級です。この特別学級がNSW州に15校あるのですが、今回全15校からのタレント性のある生徒(グループ)を各校から一組選び、パフォーマンスを発表し、優勝校を決めるというイベントが、Bankstownのスポーツセンターで行われました。こういったいわゆるShowcaseはOratoricalなどで毎年行っているのですが、今年はTalent Showcaseということで、マルチカルチャーをテーマとした芸術の祭典でした。



この15校というのは、それぞれが持つキャッチメントの地域柄の特色が表れております。私の勤務するNorthernSydney地域担当校は、ハーバーブリッジ以北Wyongまでのセントラルコーストを含む36のhigh schoolがキャッチメントとなっており、この地域は比較的西洋文化に近い生活レベルのコミュニティーが多いのですが、他の14校は、その学区域に多いエスニックグループの特徴が反映されています。今回Bankstownのスポーツセンターで行われたのですが、NSW州15校それぞれ独自の地域のコミュニティーが反映され、大変興味深いショーでした。

すべての写真を掲載することはできず残念なのですが、アフリカからの難民が多い地域の学校からは、抜群のリズム感でジャンベとダンスのコラボを披露していました。また、中近東主要の学校からは、ベリーダンスの衣装を身にまとった生徒達のプロ並みの鮮やかな舞。モンゴル、チ

ベット、ブータンなどのエスニックグループたちの、煌びやかな民族衣装に包まれた生徒達の躍動感あふれるフォークダンス。インドネシアからは一人で3つのノートを駆使したアングルンの合奏。フィリピンからの生徒はもちろんソロで熱唱。NorthernSydney地域担当校からは、日本人生徒によるチェロとピアノの伴奏とフィリピン人ボーカルのトリオでジャズ系ポップソングを演奏しました。彼らは何週間にもわたって練習に練習を重ね、当日は最高のパフォーマンスを披露し、全観客の心を魅了するほどでした。ここで少し興味深かったことなのですが、他の学校の生徒は皆民族衣装や華やかなコスチュームで着飾っていたのに対し、我が校からのトリオのうちの2人の日本人生徒はステージのためにドレスアップをすることを頑なに拒み、唯一制服姿での演奏でした。歌と踊りのショーであっても学校関係のイベントだからなのか、煌びやかにすることよりも皆との協調性を保つことを優先するというお国柄が見られました。最後は世界中からの生徒同士で、We Are The Worldを合唱して幕を閉じました。



15校が繰り広げた絢爛豪華なパフォーマンスのコンテストで、最終的には南太平洋の島々の民族舞踊を披露した学校が優勝を決めました。まさしく文化の祭典の感動に包まれた一日でした。マルチカルチャーの国オーストラリアならではですね。





# 仏教語からできた 日本語 その224

渡部重信  
sydneyhongwanji@gmail.com  
浄土真宗本願寺派[西本願寺]  
オーストラリア開教事務所長



# 法律Q&A 弁護士に 聞いてみよう 209

主任弁護士 林由紀夫 (H & H Lawyers)

## 仮説(けせつ)

「仮説」という言葉は、私たちは日常「かせつ」と読み、ある現象を統一的に説明するために立てる仮定のことを指して使っていて、学術分野では重要な言葉です。科学の分野では、学説は何がしかの真理を含んでいるとしても、全て一つの「仮説」であると考えられています。たとえノーベル賞に値するような学説であっても、支援の現象や人間社会の現象を完全に恒久な形で一般化した法則ではなく、後に変更されなければならない、正に「仮の説」と考えられています。このことは、その学説を主張する当の本人も含めて誰もが認めるもので、科学は「仮説」によって発展すると言われていています。

この同じ言葉を仏教では「けせつ」と読み仏の教えの根本的な立場を示す言葉として使われます。その意味は、「仮にことばで説く」の意で、「仮設(けせつ:仮に設定する)」、「仮立(けりゅう:仮に立てる)」、「施設(せせつ)」などとも言われ、説明原理や法則だけでなく、より根本的なことからである「ことば」を介した認識や表現そのものに対して適用される語です。

仏教では、全ては因縁によって生じた(縁起した)もので、刻々と変化し(無常で)、本性のないもので、対象を切り取って固定的に一般化して捉える「ことば」によっては認識・表現できないもの(不可言説、不立文字)とされます。それなのに、私たちは「ことば」を借りて認識・表現することに慣れ、そこに何の疑問も感じていません。実は、私たちの日常の見る・聞くなどにおける「ことば」を用いた認識は、ありのままの事実を捉えているのではなく、「ことば」を借りて仮の形で捉えたもの、すなわち「仮説」なのです。「ことば」による認識は有用で便利ですが、自覚しないままに「ことば」による固定的な意味内容を事柄に付着させ、執着や固定観念を生じさせ、それが苦悩を生み出すことにもなっています。

このように、私たちの執着や苦悩に満ちた現実、私たち自身が「ことば」によって作り上げたもの、一種の「ヴァーチャル・リアリティー(仮想現実)」で、その中で自らが苦しんでいるのです。経典などでは、このありさまを「蚕が自ら吐き出した糸によって包み縛られるようなものである」と譬えています。苦悩を増やさぬよう、真実を見る目を養いたいものです。 合掌

**Q:** シドニー在住の日本人カップルです。先日私の父から「一億円くらいのアパートだったら買ってやれる」と言われました。ただし、日本の贈与税の問題があるため、アパートは父の名義にする、オーストラリアには相続税がないので、遺言書でそのアパートを私に残すようにするという事です。これを実行するのに、何か問題があるでしょうか？

**A:** この場合、お父様がオーストラリアの不動産を外国人として直接購入することになります。オーストラリアでは、市民権・永住権を持たない外国人が住居用不動産を買うには、原則として FIRB(外国投資審査委員会)の許可が必要です。これには高額な申請料(Application Fee)がかかり、買える物件にも制限があります。基本的に「新築物件」または「大規模改築予定の中古物件」のみしか購入できません。従って、普通の中古アパートは、外国人単独では買えない可能性が高いです。

また、外国人には(例えばNSW州)、不動産購入時に通常の印紙税に加えて、8%のサーチャージがプラスされます。そのアパートを保有している間、通常の土地税(Land Tax)に加えて、外国人追加サーチャージ(約4%)が毎年かかることもあります。将来の相続・売却時の問題としては、お父様が日本でお亡くなりになった場合、そのアパートがオーストラリアにあったとしても日本の遺産分割・相続税の対象になります。オーストラリアにおいては、不動産を売却する際、キャピタルゲイン税がかかりますし、外国人が保有する物件扱いのため、オーストラリア国内税率+外国人追加税率で課税されることになります。

したがって、このままお父様単独名義で購入するのは、現実的にかなりハードルが高いです。代案として、あなた(またはご夫婦)の名義で購入し、お父様から資金援助を受ける形にする方が現実的です。もちろん贈与税のリスクは出てきますが、例えば正式な「借入契約書」を作って、「贈与ではなく貸付金」とする。5~10年の分割返済契約にして実行するなどの方法で、日本側で贈与とみなされないように設計することも可能です。この辺は、日本の税理士と相談しながら進めると良いと思います。

## ●今月の表紙 Ritsurin Garden, Takamatsu

Ritsurin-Koen has earned the highest three-star rating, in France's Michelin Green Guide Japan, recognizing it as a destination truly "worth a special journey".

After strolling through the meticulously landscaped gardens, where the scenery shifts with every step, pause for a moment of serenity at Kikugetsu-tei teahouse. Savour a bowl of matcha paired with a seasonal Japanese sweet as you watch boats glide gracefully across the lake. Let the tranquillity transport you to the early 18th century, imagining the life of a feudal lord in the Edo period, enveloped by the enduring charm of this Special Place of Scenic Beauty.



Photo and comments by David Jang

## 編集後記

▼関西万博が始まりました。SNSでは、賛否両論が飛び交ってますねえ…。マスコットのミャクミャクは、オーストラリアにもプロモーションに来てましたね。オーストラリア館もオープンしました！▼私は？1970年の大阪万博の時、とつても行きたかったのに行けなかったの、リベンジです。(行けたのは、つくば博のみ)「ほな、万博行きましょか。」

(写真は、Expo2025 大阪・関西万博のXと、在日オーストラリア大使館のFBより)



## シドニー日本クラブ役員

名誉会長	在シドニー日本国総領事
相談役	Chalker 和子
会長	渡部 重信
副会長	Costello 久恵
副会長	水越 有史郎
理事	阿部 直子
理事	齊藤 なお子
理事	Hodgkinson 恭子
専門理事	林 さゆり(親睦の会会長)
専門理事	Murn 薫(編集委員会編集長)
専門理事	Costello 久恵(シティ校代表)
専門理事	小柳 淳子(ダンダス校代表)
専門理事	水越 有史郎(教育支援委員会・エッジクリフ校代表)
事務局	松隈 由紀子(事務局長)・Richter 幸子(会計)
監事	岩佐 いずみ(会計監査)・多田 将祐(会計監査)
クラブ代表	シドニーソーラン踊り隊(渡部 重信)
	JCSフラアロハ(Gault 良子)
	ソフトボール部(安達定儀)
編集委員会	マーン薫(編集長)・渡部重信・水越有史郎
	西牟田佳奈・佐藤 薫・大塚藤子・林由紀夫・多田将祐
	坂口 潤・齊藤なお子・大塚るる・松下友紀



## 投稿原稿募集！

会員の方の生の声を募集しています。本誌を読んでの感想や、誌面に対する注文、会に対しての要望、日頃

感じていることなど、何でも構いません。皆さんからの率直なご意見や、誌面に対する感想などが、今後の誌面作りに多いに役立ちます。また、絵や写真、詩、俳句、短歌などでも構いません。お気軽にお寄せください。

原稿は、趣旨を変えない範囲で手を加える場合があります。文字数は最大1000文字です。投稿原稿は、誌面や内容、時期などの都合により掲載を見合わせる場合がありますので、ご了承ください。

## 告知板について

「告知板」は会員の方が「売ります」「買います」「教えます」など、個人の広告を掲載するコーナーです。会員の方なら、一回に限り無料で掲載できますので、ご利用下さい。

## JCSだより原稿送付先

原稿は毎月15日迄に、マーン薫編集長宛に、またはJCS事務局宛に、Email (k.murn@jcs.org.au)か郵送にてお送りください。

## JCS事務局連絡先

本誌やJCSに関するお問い合わせは、Japan Club of Sydney Inc.  
PO Box 1690, Chatswood NSW 2057 電話:0421-776-052 (9時~18時)  
Email:jcs@japanclubofsydney.org (松隈由紀子)まで。

# 会員特典

JCSの会員の皆さんが受けられる特典です。  
ぜひ、ご利用ください。

## 日本ブレーンセンターオーストラリア(NBCA)

Suite 23, 9 Milray Street, Lindfield 2070

Phone: 0404-027-407

Email: nbca.yamaguchi@gmail.com

www.nbca.com.au

担当: 人材 加藤、翻訳 山口

移民局に提出する戸籍謄本と書類の英語への翻訳をJCSの会員の皆様には20%割引で承っております。長期短期の人材紹介及び人材登録をきめ細かくお世話させていただいております。皆様のご連絡をお待ちしております。

## 甘利会計事務所

Amari Tax & Accounting

Suite 2, Level 2, 88 Pitt Street, Sydney 2000

Phone: (02) 9223-7448

Email: info@taxjp.com.au

新規顧客に特典

JCS会員の皆様のタックス・リターン申請・作成に当たり、料金から15ドルを割引いたします。お支払いの際にこのクーポンをご提示下さい。同時にお二人以上で申請される場合にも、1枚で全員に適用できます。

## ほんだらけフル・オブ・ブックス

Level 2, 39 Liverpool Street, Sydney 2000

Phone: 02-9261-5225 Email: hondarake@gmail.com

Website: http://fullofbooks.com.au

シドニー最大の日本古書籍買取・販売店。海外にいても手軽に日本の本・CDなど選べる嬉しい店内在庫8万点をご用意しています。買い取りも随時受付中。

JCS会員の方へは、本・CD・DVDのお買い上げを5%特別割引致します。JCS年会費支払いのコピーをご提示下さい。(セール商品や化粧品など一部除きます、ご了承下さい)

## 本誌広告案内

広告締切は毎月15日です。広告(掲載できるアートワーク)を、メールか郵送で、  
jcs@japanclubofsydney.orgまたはPO Box 1690, Chatswood NSW 2057まで送付ください。

広告スペース	広告サイズ	料金 (1回のみ)	会員割引料金 (1回のみ)	会員割引料金 (6~11ヵ月)	会員割引料金 (12ヵ月以上)
1ページ	横18cm×縦27.0cm	\$ 220.00	\$ 176.00	\$ 154.00(月額)	\$ 132.00(月額)
1 / 2ページ	横18cm×縦13.2cm	\$ 132.00	\$ 99.00	\$ 88.00(月額)	\$ 77.00(月額)
1 / 3ページ	横18cm×縦8.6cm	\$ 99.00	\$ 77.00	\$ 66.00(月額)	\$ 55.00(月額)
1 / 6ページ	横8.7cm×縦8.6cm	\$ 55.00	\$ 44.00	\$ 38.50(月額)	\$ 33.00(月額)

広告を申し込む際は、上記のサイズ・期間・料金を明記の上、完成された広告(正しい広告サイズで、読みやすく仕上がったアートワーク)を、事務局宛に郵送かメールでお送りください。銀行振込は以下の口座宛にお振り込みください。締切は毎月15日必着です。

※広告内容が本誌に相応しくないと判断した場合、掲載をお断りすることがあります。ご了承ください。

※JCSでは本誌掲載の広告内容に関しては一切責任を負いかねますので、その旨ご了承ください。

## 会費納入 料金

## 支払方法

### ■会費納入届または広告原稿を小切手と共にJCS事務局まで郵送する場合

小切手の宛名は「Japan Club of Sydney Inc.」をお願いいたします。

郵送先: Japan Club of Sydney, PO BOX 1690, Chatswood, NSW, 2057

### ■会費納入届または広告原稿を郵送またはメールで送り、会費を銀行振込する場合

振込時に、登録会員名(フルネーム)と電話番号をDescription/Reference欄に必ず入力して下さい。

お名前がない場合は、支払い元不明で未払い扱いになるためご注意ください。

振込先 Account Name: Japan Club of Sydney Inc. BSB No: 032-002 Account No: 51-3156

### ■会費納入届をオンラインでする場合 → <https://forms.gle/AD7bG13tdPCs2SJB8>

会員継続の場合は、会費納入届を  
提出してください。  
オンラインの場合は **こちら**